

平成25年度武雄市財務書類(普通会計)

※総務省基準モデルによる作成

貸借対照表(バランスシート)

普通会計(一般会計と土地区画整理事業特別会計の合計)で所有する現金や債権、資産形成のために投資された資金等がどのくらいあるかを示したもので、資産・負債・純資産の3つの要素から構成されています。

| 資産 834億3168万円 | | 負債 297億7553万円 | |
|---|--|---|--|
| 普通会計ベースでの市の所有資産の内容と金額です。行政サービスの提供能力を表しています。 | | 普通会計ベースでの借入金や将来の職員の退職金など、将来世代が負担する債務です。 | |
| 【内訳】 | | 【内訳】 | |
| 1. 金融資産 190億2874万円 | | 1. 流動負債 27億6900万円 | |
| (1) 資金 14億2218万円 | | (1) 地方債(短期) 22億8021万円 | |
| (2) 未収金 8億6525万円 | | (2) 賞与引当金 1億5810万円 | |
| (3) 貸付金 275万円 | | (3) その他 3億3070万円 | |
| (4) その他債権 - | | | |
| (5) 貸倒引当金 △7923万円 | | 2. 非流動負債 270億653万円 | |
| (6) 有価証券 27万円 | | (1) 地方債 237億5262万円 | |
| (7) 出資金 38億2573万円 | | (2) 退職給与引当金 32億5390万円 | |
| (8) 基金・積立金 128億7347万円 | | (3) その他 - | |
| (9) その他の投資 1億1832万円 | | | |
| 2. 非金融資産 644億294万円 | | | |
| (1) 事業用資産 327億8638万円 | | | |
| (2) インフラ資産 316億1656万円 | | | |
| (3) 繰延資産 - | | | |
| | | 純資産 536億5614万円 | |
| | | 現在までの世代が負担した金額で、正味の資産です。 | |
| | | (資産)=(負債)+(純資産) | |
| | | = 834億3168万円 | |

市民一人あたりの資産・負債

| | | | |
|--------|-------|-----|-------|
| 資産 | 165万円 | 負債 | 59万円 |
| うち公共資産 | 127万円 | 純資産 | 106万円 |

資金収支計算書

1年間の現金の収入(歳入)と支出(歳出)が、どのような理由で増減しているかを、性質別に区分して整理したものです。

| | |
|----------------------|------------------|
| 期首(24年度末)資金残高 | 15億5467万円 |
| 当期資金収支額 | -1億3249万円 |
| 【内訳】 | |
| 経常的収支(a) | 25億808万円 |
| 資本的収支(b) | △35億9015万円 |
| 基礎的財政収支(a+b) | △10億8207万円 |
| 財務的収支 | 9億4958万円 |
| 期末(25年度末)資金残高 | 14億2218万円 |

純資産変動計算書

1年間の純資産(正味の財産)がどのように増減したかを示しています。

| | |
|-----------------------|--------------------|
| 期首(24年度末)純資産残高 | 514億9121万円 |
| 当期純資産変動額 | 21億6494万円 |
| 【内訳】 | |
| 純行政コスト | △174億4621万円 |
| 財源の調達 | 230億6186万円 |
| 税収、国や県からの補助金等 | |
| その他 | △34億5071万円 |
| 公共施設整備・インフラ資産の資本減耗等 | |
| 期末(25年度末)純資産残高 | 536億5614万円 |

行政コスト計算書

1年間の経常的な活動に伴うコストと使用料・手数料・保険料などの収入を示すものです。従来の官公庁会計では捕捉できなかった減価償却費など非現金コストについても計上しています。

| | |
|--|-------------------|
| 総行政コスト(A) | 192億3365万円 |
| 【内訳】 | |
| 1. 人件費 34億7241万円 | 職員の給与、退職手当等 |
| 2. 物件費・経費 51億5919万円 | 消耗品費、維持補修費、減価償却費等 |
| 3. 業務関連経費 5億253万円 | 公債費等 |
| 4. 移転支出 100億9953万円 | 他団体への補助金等 |
| 経常収益(B) | 17億8743万円 |
| 行政サービスの利用で市民の皆さんが直接負担する施設使用料、手数料、保険料等です。 | |
| 純行政コスト | 174億4621万円 |
| 総行政コスト(A)－経常収益(B) 純粋な行政コストです。 | |
| 市民一人あたりの行政コスト | |
| 総行政コスト | 38万円 |
| 経常収益 | 4万円 |
| 純行政コスト | 34万円 |

※人口は、平成26年1月1日住民基本台帳人口： 50,690 人

※端数処理により各項目の金額と内訳の合計額が一致しない場合があります。

平成25年度武雄市財務書類(単体会計)

※総務省基準モデルによる作成

貸借対照表(バランスシート)

普通会計、特別会計及び企業会計をひとつの行政サービス実施主体(単体)とみなして市全体の所有する現金や債権、資産形成のために投資された資金等がどのくらいあるかを示したもので、資産・負債・純資産の3つの要素から構成されています。

| 資産 1206億2940万円 | | 負債 450億333万円 | |
|---|--|---------------------------------------|--|
| 単体ベースでの市の所有資産の内容と金額です。行政サービスの提供能力を表しています。 | | 単体ベースでの借入金や将来の職員の退職金など、将来世代が負担する債務です。 | |
| 【内訳】 | | 【内訳】 | |
| 1. 金融資産 224億8254万円 | | 1. 流動負債 50億513万円 | |
| (1) 資金 31億4371万円 | | (1) 地方債(短期) 36億8921万円 | |
| (2) 未収金 13億2559万円 | | (2) 賞与引当金 1億7416万円 | |
| (3) 貸付金 1億9275万円 | | (3) その他 11億4177万円 | |
| (4) その他債権 - | | | |
| (5) 貸倒引当金 △12479万円 | | 2. 非流動負債 399億9820万円 | |
| (6) 有価証券 27万円 | | (1) 地方債 367億4430万円 | |
| (7) 出資金 38億2573万円 | | (2) 退職給与引当金 32億5390万円 | |
| (8) 基金・積立金 140億96万円 | | (3) その他 - | |
| (9) その他の投資 1億1832万円 | | | |
| 2. 非金融資産 981億4686万円 | | | |
| (1) 事業用資産 407億8714万円 | | | |
| (2) インフラ資産 573億5972万円 | | | |
| (3) 繰延資産 - | | | |
| | | 純資産 756億2606万円 | |
| | | 現在までの世代が負担した金額で、正味の資産です。 | |
| | | (資産)=(負債)+(純資産) | |
| | | = 1206億2940万円 | |

市民一人あたりの資産・負債

| | | | |
|--------|-------|-----|-------|
| 資産 | 238万円 | 負債 | 89万円 |
| うち公共資産 | 194万円 | 純資産 | 149万円 |

資金収支計算書

1年間の市全体の現金の収入(歳入)と支出(歳出)が、どのような理由で増減しているかを、性質別に区分して整理したものです。

| | |
|----------------------|------------------|
| 期首(24年度末)資金残高 | 24億6691万円 |
| 当期資金収支額 | 6億7681万円 |
| 【内訳】 | |
| 経常的収支(a) | 42億3166万円 |
| 資本的収支(b) | △39億5347万円 |
| 基礎的財政収支(a+b) | 2億7819万円 |
| 財務的収支 | 3億9862万円 |
| 期末(25年度末)資金残高 | 31億4371万円 |

純資産変動計算書

1年間の市全体の純資産(正味の財産)がどのように増減したかを示しています。

| | |
|-----------------------|-------------------|
| 期首(24年度末)純資産残高 | 731億8640万円 |
| 当期純資産変動額 | 24億3967万円 |
| 【内訳】 | |
| 純行政コスト | △229億634万円 |
| 財源の調達 | 314億7336万円 |
| 税収、国や県からの補助金等 | |
| その他 | △61億2735万円 |
| 公共施設整備・インフラ資産の資本減耗等 | |
| 期末(25年度末)純資産残高 | 756億2606万円 |

行政コスト計算書

1年間の市全体の経常的な活動に伴うコストと使用料・手数料・保険料などの収入を示すものです。従来の官公庁会計では捕捉できなかった減価償却費など非現金コストについても計上しています。

| | |
|--|-------------------|
| 総行政コスト(A) | 366億2038万円 |
| 【内訳】 | |
| 1. 人件費 37億8915万円 | 職員の給与、退職手当等 |
| 2. 物件費・経費 72億6594万円 | 消耗品費、維持補修費、減価償却費等 |
| 3. 業務関連経費 9億1365万円 | 公債費等 |
| 4. 移転支出 246億5164万円 | 他団体への補助金等 |
| 経常収益(B) | 137億1404万円 |
| 行政サービスの利用で市民の皆さんが直接負担する施設使用料、手数料、保険料等です。 | |
| 純行政コスト | 229億634万円 |
| 総行政コスト(A)－経常収益(B) 純粋な行政コストです。 | |
| 市民一人あたりの行政コスト | |
| 総行政コスト | 72万円 |
| 経常収益 | 27万円 |
| 純行政コスト | 45万円 |

※人口は、平成26年1月1日住民基本台帳人口： 50,690 人

※端数処理により各項目の金額と内訳の合計額が一致しない場合があります。

平成25年度武雄市財務書類(連結会計)

※総務省基準モデルによる作成

貸借対照表(バランスシート)

武雄市と連携協力して行政サービスを実施している関係団体(一部事務組合等)をひとつの行政サービス実施主体とみなして、当該団体全体の所有する現金や債権、資産形成のために投資された資金等がどのくらいあるかを示したもので、資産・負債・純資産の3つの要素から構成されています。

| 資産 1290億2629万円 | | 負債 472億5531万円 | |
|---|--|---------------------------------------|--|
| 関係団体全体の所有資産の内容と金額です。行政サービスの提供能力を表しています。 | | 関係団体全体の借入金や将来の職員の退職金など、将来世代が負担する債務です。 | |
| 【内訳】 | | 【内訳】 | |
| 1. 金融資産 215億6301万円 | | 1. 流動負債 50億8603万円 | |
| (1) 資金 37億6713万円 | | (1) 地方債(短期) 37億1536万円 | |
| (2) 未収金 14億4233万円 | | (2) 賞与引当金 2億1048万円 | |
| (3) 貸付金 275万円 | | (3) その他 11億6019万円 | |
| (4) その他債権 - | | | |
| (5) 貸倒引当金 △1億3032万円 | | 2. 非流動負債 421億6928万円 | |
| (6) 有価証券 27万円 | | (1) 地方債 383億9092万円 | |
| (7) 出資金 15億8599万円 | | (2) 退職給与引当金 37億7762万円 | |
| (8) 基金・積立金 147億3860万円 | | (3) その他 75万円 | |
| (9) その他の投資 14598万円 | | | |
| 2. 非金融資産 1074億6329万円 | | | |
| (1) 事業用資産 422億1376万円 | | | |
| (2) インフラ資産 652億4953万円 | | | |
| (3) 繰延資産 - | | | |
| | | 純資産 817億7098万円 | |
| | | 現在までの世代が負担した金額で、正味の資産です。 | |
| | | (資産) = (負債) + (純資産) | |
| | | = 1290億2629万円 | |

市民一人あたりの資産・負債

| | | | |
|--------|-------|-----|-------|
| 資産 | 255万円 | 負債 | 93万円 |
| うち公共資産 | 212万円 | 純資産 | 161万円 |

資金収支計算書

1年間の関係団体全体の現金の収入(歳入)と支出(歳出)が、どのような理由で増減しているかを、性質別に区分して整理したものです。

期首(24年度末)資金残高 30億7757万円

当期資金収支額 6億8956万円

| | |
|--------------|------------|
| 【内訳】 | |
| 経常的収支(a) | 52億4931万円 |
| 資本的収支(b) | △39億2583万円 |
| 基礎的財政収支(a+b) | 13億2348万円 |
| 財務的収支 | △6億3392万円 |

期末(25年度末)資金残高 37億6713万円

純資産変動計算書

1年間の純資産(正味の財産)がどのように増減したかを示しています。

期首(24年度末)純資産残高 794億7338万円

当期純資産変動額 22億9760万円

| | |
|---------------------|--------------------|
| 【内訳】 | |
| 純行政コスト | △267億5442万円 |
| 財源の調達 | 357億7503万円 |
| 税金、国や県からの補助金等 | |
| その他 | △67億2301万円 |
| 公共施設整備・インフラ資産の資本減耗等 | |

期末(25年度末)純資産残高 817億7098万円

行政コスト計算書

1年間の関係団体全体の経常的な活動に伴うコストと使用料・手数料・保険料などの収入を示すものです。従来の官公庁会計では捕捉できなかった減価償却費など非現金コストについても計上しています。

総行政コスト(A) 412億4461万円

| | |
|----------------------------|-------------------|
| 【内訳】 | |
| 1. 人件費 45億4295万円 | 職員の給与、退職手当等 |
| 2. 物件費・経費 88億2379万円 | 消耗品費、維持補修費、減価償却費等 |
| 3. 業務関連経費 10億0416万円 | 公債費等 |
| 4. 移転支出 268億7371万円 | 他団体への補助金等 |

経常収益(B) 144億9019万円

行政サービスの利用で市民の皆さんが直接負担する施設使用料、手数料、保険料等です。

純行政コスト 267億5442万円

総行政コスト(A) - 経常収益(B)
純粋な行政コストです。

市民一人あたりの行政コスト

| | |
|--------|------|
| 総行政コスト | 81万円 |
| 経常収益 | 29万円 |
| 純行政コスト | 53万円 |

※人口は、平成26年1月1日住民基本台帳人口: 50,690人

※端数処理により各項目の金額と内訳の合計額が一致しない場合があります。